



「普通」って？

人材育成・人材活用部長
中村 裕人

最近多様性が重視され、「普通」という言葉の使用を控えることが多くなってきたと感じています。ただ学校の中では、「普通」という言葉が見え隠れします。「(普通) 分かるよね。」「(普通) こっちの方が好きだね。」など、個人の価値観が「普通」になってしまうことがあります。そのため、学校全体が「自他を尊重し、一人一人を大切にすること」が「普通」となることを目指して教育活動を行っています。



教室では、学習が得意な子、苦手な子、運動が得意な子、苦手な子など、十人十色の子どもたちが集まって学習をします。だからこそ、全員が「分かった。」「できた。」「楽しかった。」と思えるように一人一人が力を出し合いながら学習課題を解決していきます。ただ、せっかく発言した考えが上手く伝わらなかった時、周りの子どもたちはどう反応するでしょうか。「そんな考えは違う。」「何を言っているの。」と否定的になるでしょうか。それとも「本当はこう言いたいんじゃないかな。」「どうしてそう考えたのだろう。」と想像するでしょうか。子どもたちが後者のように育ってほしいと私は思っています。相手の意見を否定的に受け止めるのではなく、一度受け止め大切にすること。そのような子どもたちが大人になれば、自分もみんなも大切にされている一人なのだと考えることが「普通」となり、お互いを認め合いながら幸せな社会を築いていけるのではないのでしょうか。

このように、本校の子どもたちが自他を尊重し一人一人を大切にすること、あったかい大人となり、幸せな社会の担い手となれるように、これからも関わっていきたいと思います。また、私たちが今までの「普通」と向き合いながら、よりよい教育活動を目指していきます。ぜひご家庭でもどのようなことが「普通」だったらよいかと話題にいただけたら幸いです。



2月の行事予定



2月

- 3日(月) 全校朝会 委員会・クラブ無し
 - 4日(火) 火曜B日課 A L T来校日
スキー山学習開始
PTA読み聞かせボランティア
(3年・さ1組 8:25~8:35)
 - 5日(水) A L T来校日
 - 6日(木) 木曜B日課
 - 7日(金) スクールカウンセラー来校日(PM)
 - 10日(月) 令和7年度1年生一日入学・保護者説明会
全学年短縮4時間授業(給食あり)
(12:50頃 下校予定)
 - 11日(火) 建国記念の日
 - 13日(木) 木曜A日課 A L T来校日
PTA読み聞かせボランティア
(6年 8:25~8:35)
 - 14日(金) 全学年通常4時間授業(給食あり)
(13:15頃 下校予定)
スクールカウンセラー来校日(AM)
出前授業「中学校への心の準備」
(6年 4校時)
 - 17日(月) 委員会(5年生:最終)
卒業への取組(6年生)
- この日、5年生は委員会活動に取り組みます。6年生は卒業式に向けての活動(呼びかけ、奉仕活動など)を行います。下校時刻は以下の通りです。ご承知おください。

5年生 15時25分頃
6年生 15時15分頃
- 18日(火) 火曜B日課 A L T来校日
PTA読み聞かせボランティア
(5年・さ3組 8:25~8:35)
 - 19日(水) 評価期間①(5時間授業)
さくらレインボーフェスティバル
A L T来校日
 - 20日(木) 評価期間②(5時間授業)
 - 21日(金) 校務処理日
全学年通常4時間授業(給食あり)
スクールカウンセラー来校日(PM)

- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 評価期間③(5時間授業)
A L T来校日
- 26日(水) 評価期間④(5時間授業)
スクールカウンセラー来校日(PM)
A L T来校日
- 27日(木) 評価期間⑤(5時間授業)
PTA読み聞かせボランティア
(4年 8:25~8:35)
スキー学習(テイネオリンピア)
(5~6年・さくら5~6年)
スキー学習参加学年の下校時刻は15:15頃です。
- 28日(金) 評価期間⑥(5時間授業)
スキー学習(テイネオリンピア)
(3~4年・さくら3~4年)
スキー学習参加学年の下校時刻は15:15頃です。

※A日課・B日課について

	日課	学 年	授業数
火	A	1年 2年	5時間
		3年 4年 5年 6年	6時間
	B	1年 2年 3年	5時間
		4年 5年 6年	6時間
木	A	1年	5時間
		2年 3年 4年 5年 6年	6時間
	B	全学年	5時間

「赤い羽根共同募金」にあたってのお礼とご報告

昨年12月に新光小学校として「赤い羽根共同募金運動」に参加いたしました。募金額は以下の通りです。

7,105 円



たくさんのご理解とご協力をいただきありがとうございました。集まった募金は、社会福祉活動のための貴重な財源として有効に活用されます。今後ともよろしく願いいたします。

スキー学習の お知らせとお願い(再掲)

12月の学校だよりでもお知らせしました
おり、**2月4日(火)～28日(金)**の期間にお
いて、全学年スキー学習に取り組めます。
また、3～6年生では、下記の日程でテイ
ネオリンピアでのスキー学習があります。
(1～2年生・さくら1組はテイネオリンピ
アでの学習はありません。)保護者の皆様
におかれましては、用具の安全確認、記名
をお願いいたします。

2月27日(木) 5～6年生
さくら5～6年

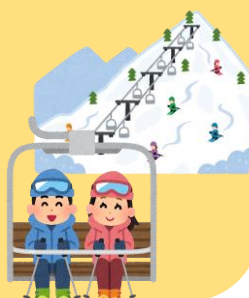
2月28日(金) 3～4年生
さくら3～4年

※スキー学習は6時間設定となっております
ので、参加学年の下校時刻は15:15頃
となります。ご注意ください。

＜スキー道具の搬入について＞

- ①登校時にお子さんと一緒にスキー置き場
まで持って行きます。
- ②下校後～16:30までに来校し、**スキー置
き場まで持って行きます。**
- ③16:30～18:00の場合は**玄関前の廊下に
設置したブルーシートに置きます。**翌朝
お子さんが置き場まで持って行きます。

※土日は学校無人化となっております。土
日にご家族でスキーに行く場合には平日
のうちにお持ち帰りください。管理員が
いる場合もありますが、
体育館開放のための配
置です。スキーの対応
はできませんので、
ご了承ください。



第19回卒業証書授与式について

今年度の卒業証書授与式は下記の日程で
行います。

○令和7年3月21日(金)

午前10:00～

○6年生児童とご家庭



○卒業式に参加できる保護者の方は、各家
庭2名程度とします。(3名以上参加する
場合は、事前にお知らせください。)

○1～5年生は休業日としますが、卒業生
のご兄弟姉妹については、ご家庭の判断
で参加することも可能とします。(その際
は、事前にお知らせください。)

○保護者の皆様の座席は、1家庭2席を指
定席としています。2名を超える場合は、
体育館後方に自由席を設けますので、ご
利用ください。

○当日のスムーズな進行、混雑を防ぐため
保護者席はくじ引き抽選で決定いたしま
す。抽選実施と結果をお知らせする日は、
2月26日(水)を予定しております。

※当日欠席のお子さんは、担任が代理で抽
選いたします。

※その他、詳細については、後日6年生の
保護者の皆様にお便りや「すぐる」に
てご案内いたします。

転居等のお申し出 手続きはお早めに

お申し出されていない転出予定のある
ご家庭は、担任を通じて早めにお知らせく
ださい。また、転居届などの公的な手続き
を必ず行ってくださいますよう、お願いい
たします。何かご不明な点がありましたら
学校(011-762-7990 担当:丸尾)までお問
い合わせください。

「まほうのかいわ」で、お子さんの成長をサポートしましょう！

『さっぽろっ子「学び」のススメ～学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり』を配付いたします。つきましては、左の欄はお子さんが、右の欄は保護者の皆様が記入し、学校に提出してください。キャリアパスポートにとじることとします。2年生以上の保護者の皆様は、既にご存知のこととは思いますが、改めてポイントについて、札幌市教育委員会資料の中から抜粋してお知らせいたします。



子どもは、どの子どももよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高めることが大切です。共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

では、共感的・肯定的なメッセージとは、どのようにすればよいのでしょうか。以下に具体的な言葉かけの事例を挙げました。

○子どもが自分で決めることを促すためには？

☞「～しなさい」メッセージより、「背中を押す」メッセージを！+αの質問を！

例)「次は、〇〇もやってみようかな・・・。」より、

「ほかにもできそうなことはある？」

「次、もっとうまくやるためにはどうする？」



○子どもの伸びを認めるためには？

☞「YOU」メッセージより、「I (=私を主語に)」メッセージを！

例)「すごいね。」「がんばったね。」「よくやったね。」より、

「お部屋がきれいになって気持ちいいね。」

「お片付けをしてくれてみんなも助かったよ。ありがとう。」



○子どもの継続した取組を支えるためには？

☞「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを！

例)「レギュラーになれなくてももうやめたかったけれど、またがんばってみようかな。」より

「一緒にやっていこう！」



○子どもの「心と体」、「学び」を守るためには？

☞「できない」メッセージより、「安心できる」メッセージを！

例)「思ったとおりにいかないこともあるよね。またやってみよう。」

「気分転換に体を動かすと気持ちがいいね。」

子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と、家庭、地域が連携していければと考えます。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。